

公益社団法人川口青年会議所

第177回通常総会資料



2023.12.7 産業技術総合センター
4AB会議室

公益社団法人 川口青年会議所
Kawaguchi Junior Chamber Incorporated

この通常総会資料は、再生紙を使用致しました

公益社団法人 川口青年会議所

公益社団法人 川口青年会議所

第177回通常総会 次第

日 時 2023年12月7日(木)
開 会 18:30 閉会21:00
会 場 埼玉県産業技術総合センター
4AB会議室
司 会 持田 圭佑 君

1. 点鐘 第59代理事長 永井 光義 君
2. 開会宣言 蛭田 幸宏 君
3. 国歌斉唱
4. JCソング斉唱
5. JCI Creed 唱和 荻野 梓 君
6. JCI Mission並びにJCI Vision 唱和 廣瀬 大志 君
7. JC宣言文朗読並びに綱領唱和 藤田 夏輝 君
8. 関東地区宣言唱和 境 友梨 君
9. オブザーバー紹介
10. 理事長挨拶 第59代理事長 永井 光義 君
11. 3分間スピーチ 蛭田 幸宏 君
12. 正会員認証
13. 会員慶事
14. 【1】議長の選出 【2】資料の確認及び定足数の確認 【3】議事録作成者及び署名人の指名
【4】議事
 - 4-1 除名者(案)承認に関する件
 - 4-2 2023年度 補正収支予算書(案)承認に関する件
 - 4-3 定款変更(案)承認に関する件
 - 4-4 2024年度 事業計画(案)承認に関する件
 - 4-5 2024年度 収支予算書(案)承認に関する件
15. ありがとう報告会
16. 出向者報告会
17. 連絡報告事項
18. 次回例会案内 会員研修委員会
19. 出席率並びにニコニコボックス発表 蛭田 幸宏 君
20. 監事講評 監事 赤羽 孝太 君
21. 若い我ら斉唱
22. 閉会宣言 蛭田 幸宏 君
23. 点鐘 第59代理事長 永井 光義 君

審議一 1 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 除名者（案）承認に関する件

除名承認に関する件

除名者 大作 均

入 会 2017年12月
生年月日 昭和61年3月17日

除名理由 定款第10条第1項第1号
内 容 2023年度会費納入義務不履行（144,000円）
2023年度例会出席義務不履行（例会11回中0回出席 出席率0%）

除名承認に関する件

除名者 梅田 健志

入会 2020年10月
生年月日 昭和61年6月26日

除名理由 定款第10条第1項第1号
内 容 2023年度会費納入義務不履行（144,000円）

審議一 2 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 補正収支予算書（案）承認に関する件

修正収支予算書

2023年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
(1) 経常収益											
受取入会金	0	0	0	120,000	120,000	0	0	180,000	180,000	0	300,000
受取入会金	0	0	0	120,000	120,000	0	0	180,000	180,000	0	300,000
受取会費	0	0	0	2,529,600	2,529,600	0	0	3,794,400	3,794,400	0	6,324,000
正会員受取会費	0	0	0	1,785,600	1,785,600	0	0	2,678,400	2,678,400	0	4,464,000
新入会員受取会費	0	0	0	120,000	120,000	0	0	180,000	180,000	0	300,000
特別会員受取会費	0	0	0	24,000	24,000	0	0	36,000	36,000	0	60,000
賛助会員受取会費	0	0	0	600,000	600,000	0	0	900,000	900,000	0	1,500,000
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
まちづくり事業収益	0	676,500	0	0	676,500	0	0	0	0	0	676,500
まちづくり事業収益	0	676,500	0	0	676,500	0	0	0	0	0	676,500
* 受取寄付金	0	1,040,000	320,000	0	1,360,000	0	0	0	0	0	1,360,000
* 寄付金収入	0	1,040,000	320,000	0	1,360,000	0	0	0	0	0	1,360,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,084	138,084
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14
その他雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,070	138,070
経常収益計	0	1,716,500	320,000	2,649,600	4,686,100	0	0	3,974,400	3,974,400	138,084	8,798,584
(2) 経常費用											
事業費	0	3,555,047	2,301,342	0	5,856,389	50,000	807,442	0	857,442		6,713,831
賃借料	0	1,484,968	316,800	0	1,801,768	30,000	623,128	0	653,128		2,454,896
諸謝金	0	348,744	66,000	0	414,744	0	200	0	200		414,944
印刷製本費	0	461,526	77,330	0	538,856	18,500	5,244	0	23,744		562,600

修正収支予算書

2023年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
事務委託費										146,600	146,600
諸会費										196,200	196,200
印刷製本費										274,500	274,500
JCI負担金										66,066	66,066
日本JC負担金										217,500	217,500
関東地区負担金										43,000	43,000
埼玉ブロック負担金										218,000	218,000
国際協力基金										76,650	76,650
日本JC出向者負担金										80,000	80,000
雑誌購読料										102,250	102,250
減価償却費										0	
経常費用計	0	3,555,047	2,301,342	0	5,856,389	50,000	807,442	0	857,442	2,508,970	9,222,801
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 1,838,547	△ 1,981,342	2,649,600	△ 1,170,289	△ 50,000	△ 807,442	3,974,400	3,116,958	△ 2,370,886	△ 424,217
当期経常増減額	0	△ 1,838,547	△ 1,981,342	2,649,600	△ 1,170,289	△ 50,000	△ 807,442	3,974,400	3,116,958	△ 2,370,886	△ 424,217
経常外増減の部											0
(1)経常外収益											0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用											0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
* 他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 1,838,547	△ 1,981,342	2,649,600	△ 1,170,289	△ 50,000	△ 807,442	3,974,400	3,116,958	△ 2,370,886	△ 424,217
一般正味財産期首残高											2,773,788
一般正味財産期末残高											2,349,571
正味財産期末残高											2,349,571

公益社団法人 川口青年会議所 2023年度 修正収支予算書(案)

I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	30,000	× 10 名(正会員承認見込数)	300,000	300,000
受取会費				
正会員会費	144,000	× 32 名	4,808,000	
	144,000	× 1 名(休会者、育児休暇)	差引 -144,000	
	72,000	× 0 名(前期退会者)	0	4,464,000
新入会員会費 12000/月				
	144,000	× 0 名(後期退会者)	0	
	144,000	× 0 名(1月入会)	0	
	120,000	× 0 名(2月入会)	0	
	108,000	× 0 名(3月入会)	0	
	96,000	× 0 名(4月入会)	0	
	84,000	× 1 名(5月入会)	84,000	
	72,000	× 0 名(6月入会)	0	300,000
	60,000	× 0 名(7月入会)	0	
	48,000	× 0 名(8月入会)	0	
	36,000	× 4 名(9月入会)	144,000	
	24,000	× 1 名(10月入会)	24,000	
	12,000	× 4 名(11月入会)	48,000	
特別会員会費収入	30,000	× 2 名(本年度ご卒業生)	60,000	60,000
賛助会員会費収入			0	0
シニアクラブ			1,500,000	1,500,000
賛助会員			0	0
その他			0	0
				6,324,000
事業収入				
登録料収入	中期ビジョン10月事業インターンシップ登	15,000	× 6 社	90,000
	総務広報4月第一例会	4,500	× 109 人(大人)	490,500
	総務広報4月第一例会	2,000	× 38 人(子供)	76,000
	地域活性化 3月第一 夜カフェ	1,000	× 20 人	20,000
				0
				676,500
受取寄付金				
寄付金収入		×		0
		×		0
協賛金収入	総務広報事業	100,000	× 1 社	100,000
	総務広報事業	50,000	× 4 社	200,000
	総務広報事業	20,000	× 20 社	400,000
	HPバナー広告	20,000	× 17 社	340,000
	会員拡大特別委員会2月例会	10,000	× 32 社	320,000
				1,360,000
雑収入				
受取利息収入	川口青年経済人連絡協議会事務局委託	14	× 1	14
その他雑収入	自動販売機設置料	10,800	× 12 ヶ月	129,600
		8,470	× 1	8,470
				138,084
経常収益計				8,798,584
(2) 経常費用				
事業費				
	1. 会員拡大特別委員会			510,466
	2. 中期ビジョン推進特別委員会			178,946
	3. 会員研修委員会			807,442
	4. 地域活性化委員会			942,034
	5. 総務広報委員会			2,113,629
				3,952,517
管理費				
通信・発送費	例会及び理事会通知等			120,000
什器備品費	コピー機リース料			170,000
消耗品費	JCI手帳700円×(出向者数+αを含む)、事務局内消耗品、印刷費			350,000
管理料	事務居内資料支出	130,198	× 12	1,562,376
ホームページ管理・制作				24,323
	1. 会員拡大特別委員会			5,000
	2. 中期ビジョン推進特別委員会			5,000
	3. 会員研修委員会			20,000
	4. 地域活性化委員会			5,000
	5. 総務広報委員会			5,000
	選挙管理委員会(次年度当選証書)			20,000
	理事会費支出			22,500
	総会費支出			75,000
水道光熱費				200,000
給与手当	1月～7月 562519円			
	①(基本計算987円×5h×16日×5カ月)			957,319
	②残業代30,000			
雑費				200,000
渉外費	京都会議	8,000		108,000
	他団体渉外費	100,000		
	税理士10,000×12月分	10,000	× 12 カ月	120,000
事務委託費	社労士6,600	6,600		146,600
	司法書士20,000	20,000		20,000
議会費	川口青年経済人連絡協議会	1,600	× 32 名	51,200
	議団体事業協賛金			145,000
手帳作成費		610	× 450 冊	274,500
JCI負担金		1,573	× 32 名	50,336
		1,573	× 10 名(年間新入会員)	15,730
				30,000
日本JC負担金	①基本額	5,000	× 32 名(継続会員)	160,000
	②付加金	5,000	× 1 名(前期新入会員)	5,000
		2,500	× 9 名(後期新入会員)	22,500
				10,000
関東地区負担金	①基本額	1,000	× 32 名(継続会員)	32,000
	②付加金	1,000	× 1 名(前期新入会員)	1,000
				20,000
埼玉ブロック負担金	①基本額	6,000	× 32 名(継続会員)	192,000
	②付加金	6,000	× 1 名(前期新入会員)	6,000
		1,825	× 32 名(継続会員)	58,400
国際協力基金		1,825	× 10 名(前後期新入会員)	18,250
日本JC出向者負担金		20,000	× 4 名	80,000
雑誌購読料 月/250		3,000	× 32 名(継続会員)	96,000
		3,000	× 0 名(1月入会)	0
		2,500	× 0 名(2月入会)	0
		2,250	× 0 名(3月入会)	0
		2,000	× 0 名(4月入会)	0
		1,750	× 1 名(5月入会)	1,750
		1,500	× 0 名(6月入会)	0
		1,250	× 0 名(7月入会)	0
		1,000	× 0 名(8月入会)	0
		750	× 4 名(9月入会)	3,000
		500	× 1 名(10月入会)	500
		250	× 4 名(11月入会)	1,000
				102,250
経常費用計				5,270,284
2. 経常外増減の部				9,222,801
(1) 経常外収益				
	中目別記載			0
(2) 経常外費用				
	減価償却費			0
	他会計振替額			0
当期一般正味財産増減額				-424,217
一般正味財産期首残高				2,773,788
一般正味財産期末残高				2,349,571
II 指定正味財産増減の部				
	受取補助金等			0
一般正味財産への振替額				0
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				
60周年積立金	150,000	× 1 2020年分	150,000	
(特定費用準備資金制度利用)	150,000	× 1 2021年分	150,000	
	150,000	× 1 2022年分	150,000	600,000
	150,000	× 1 2023年分	150,000	
	150,000	× 2024年分	0	
周年費用差引 本会計				1,749,571

科目	2023年12月補正予算	2023年9月補正予算	比較増減	%
(1)経常収益				
受取入金	300,000	600,000	△ 300,000	3.41%
受取入金	300,000	600,000		
受取会費	6,324,000	6,480,000	△ 156,000	71.88%
正会員受取会費	4,464,000	4,464,000	0	
新入会員受取会費	300,000	456,000	△ 156,000	
特別会員受取会費	60,000	60,000	0	
賛助会員受取会費	1,500,000	1,500,000	0	
その他				
事業収入	676,500	886,500	△ 210,000	7.69%
登録料収入	676,500	886,500	△ 210,000	
受取寄付金	1,360,000	1,360,000	0	15.46%
寄付金収入			0	
協賛金収入	1,360,000	1,360,000	0	
雑収益	138,084	138,084	0	1.57%
受取利息	14	14	0	
その他雑収益	138,070	138,070	0	
経常収益計	8,798,584	9,464,584	△ 666,000	100.00%
(2)経常費用				
事業費	3,952,517	4,210,000	△ 257,483	42.86%
管理費	5,270,284	5,456,715	△ 186,431	57.14%
通信・発送費	120,000	120,000	0	
什器備品費	170,000	170,000	0	
消耗品費	350,000	350,000	0	
事務局賃借料	1,562,376	1,562,376	0	
ホームページ管理費	24,323	24,323	0	
会議費	157,500	157,500	0	
水道光熱費	200,000	200,000	0	
給与手当	957,319	977,520	△ 20,201	
雑費	200,000	200,000	0	
渉外費	108,000	108,000	0	
事務委託費	146,600	146,600	0	
諸会費	196,200	196,200	0	
印刷製本費	274,500	274,500	0	
J C I 負担金	66,066	81,796	△ 15,730	
日本 J C 負担金	217,500	265,000	△ 47,500	
関東地区負担金	43,000	52,000	△ 9,000	
埼玉ブロック負担金	218,000	272,000	△ 54,000	
国際協力基金	76,650	94,900	△ 18,250	
日本 J C 出向者負担金	80,000	80,000	0	
雑誌購読料	102,250	124,000	△ 21,750	
減価償却費	0	0	0	
経常費用計	9,222,801	9,666,715	△ 443,914	100.00%
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 424,217	△ 202,131	△ 222,086	
当期経常増減額	△ 424,217	△ 202,131	△ 222,086	
経常外増減の部				
(1)経常外収益計				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 424,217	△ 202,131	△ 222,086	
一般正味財産期首残高	2,773,788	2,773,788	0	
一般正味財産期末残高	2,349,571	2,571,657	△ 222,086	
特定費用準備資金制度運用 60周年積立金 2020年、21、22、23年分	600,000	600,000		

審議一 3 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 定款変更（案）承認に関する件

公益社団法人川口青年会議所 定款変更（案）

<p>(総会の議事録)</p> <p>第20条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。</p> <p>2. 理事長、議長及び当該総会において選任された2名以上の理事は、前項の議事録に記名押印する。</p> <p>(役員の設置)</p> <p>第21条 この法人に、次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事10名以上20名以内</p> <p>以下略</p> <p>(役員を選任)</p> <p>第22条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。</p> <p>2. 理事長、副理事長及び専務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。</p> <p>(理事会の議事録)</p> <p>第36条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。</p> <p>2. 出席した理事長、監事及び当該理事会において議事録署名人に選任された理事2名は、前項の議事録に記名押印する。</p>	<p>(総会の議事録)</p> <p>第20条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。</p> <p>2. 理事長、議長及び当該総会において選任された2名以上の理事は、前項の議事録に<u>署名又は</u>記名押印する。</p> <p>(役員の設置)</p> <p>第21条 この法人に、次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事<u>6名</u>以上20名以内</p> <p>以下略</p> <p>(役員を選任)</p> <p>第22条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。</p> <p>2. 理事長、副理事長及び専務理事は、<u>総会の決議</u>によって理事の中から選定する。</p> <p>(理事会の議事録)</p> <p>第36条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。</p> <p>2. 出席した<u>理事長及び当該理事会において議事録署名人に選任された理事2名</u>は、前項の議事録に<u>署名又は記名押印</u>する。</p>
---	---

<変更理由>

1. 会員数の減少により理事の最少人数を変更する必要があるため。(第21条)
2. 官公庁や民間企業でも押印廃止の傾向にあるなかで、議事録の確認について記名押印だけではなく署名でも可とするため。(第20条、第36条)
3. 従来より実質的には総会の中で理事長等を選定しているが、形式的に1月1日にみなし理事会を開催し、理事会で理事長を選定しているところ、内容と実質を合わせ、総会にて理事長を選定できるようにするため。(第22条)

審議一 4 公益社団法人川口青年会議所
2024年度 事業計画書（案）承認に関する件

2024年度 年間事業計画書

公益社団法人 川口青年会議所

事業番号	公1				
事業内容	青少年の健全な育成に寄与する事を目的とする体験活動、競技会等の事業				
事業対象者	川口市在住の市民	作成者	廣瀬 大志	役職	委員長
事業予算	¥0	確認者	中村 光彦	役職	専務理事
別表の号	⑦・青少年育成 9・ひとづくり 19・まちづくり				
事業分類	1・講座、セミナー、育成 2・体験活動等 3・調査・資料収集 8・競技会				
事業の目的					
事業の概要					
その他の説明					

2024年度 年間事業計画書

公益社団法人 川口青年会議所

事業番号	公2				
事業内容	教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達をに寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業。 地域社会の健全な発展を目的とする事業				
事業対象者	川口市在住の市民	作成者	廣瀬 大志	役職	委員長
事業予算	¥2,815,000	確認者	中村 光彦	役職	専務理事
別表の号	7・青少年育成 9・ひとづくり (19)まちづくり				
事業分類	①講座、セミナー、育成 ②体験活動等 3・調査・資料収集 8・競技会				
事業の目的	川口青年会議所が、これまで築き上げてきた地域や関係諸団体と連携をし、防災をテーマに地域の人々に防災に対する知識、意識の向上を図ります。7月に川口青年会議所60周年記念事業として500人規模の水害対策を時系列で検討する国土交通省「マイ・タイムライン」を利用した謎解きイベントを行います。 今回で3回目となるかわロゲ2024は、従来の客層に加え、新たな客層をターゲットとすることでよりスケールアップを予定しています。他団体と連携し川口青年会議所との関係を今まで以上に構築し、スポーツを通じて地域住民、社会の健全な発展と地域の活性化を目的とする事業を行います。				
事業の概要	60周年記念事業委員会 60周年記念事業外部協力者への交渉 ・4月7月の例会に協力していただく組織・団体を募ります。 ・主に防災に関わる行政組織、民間企業などの諸団体を訪問し、事業への参加協力を依頼します。 ・交渉と並行して例会開催会場を選定します。 シニア防災ワークショップ広報・集客活動 ・会場近隣町会に回覧板の活用を依頼します。 ・市内掲示板へチラシを掲示します。 ・60周年事業に参加していただく団体、パートナーシップ企業、会議所メンバー企業に協力を依頼します。 4月第一例会 ・水害リスクの解説と、水害への対策に関するセミナーを実施します。 ・水害対策の計画を策定する水害防災計画策定用ツール、マイ・タイムラインを利用したワークショップを実施します。 60周年記念事業広報・集客活動 ・川口市内の小中学校へチラシを配布します。 ・市内掲示板へチラシを掲示します。 ・市内町会に回覧板の活用を依頼します。 ・WEB広告媒体を活用します。 ・60周年記念事業に参加していただく団体、パートナーシップ企業、会議所メンバー企業に協力を依頼します。 7月第一例会 ・防災というテーマを通じ、地域の多様な団体、市民を巻き込む事業を行います。 ・協力者による防災に関するブースを出展します。 ・ブースを横断しながら、問題発見・問題解決の積み重ねを体験しつつ、水害対策について学べる謎解きを実施します。 ・災害体験車などを招致します。 総務広報委員会 参加者の募集 ・サイクルイベントの情報サイトへの掲載をします。 ・川口市の半径20キロに絞ったインスタ有料広告の掲載をします。 ・各種SNSを活用した広報をします。 ・トリコカワグチなど川口の情報ウェブサイトへ広告の依頼をします。 ・開催エリアへの学校会報へのチラシ同封をします。 ・市内スポーツセンターへのチラシの配布をします。 ・川口市レクリエーション協力へのチラシ配布をします。 ・テレ玉など各種メディアへの情報提供をします。 ・スポーツ系YouTubeへ案件打診をします。 各地ポイントへの選定と交渉 ・範囲を拡大した魅力あるポイントの選定を行います。 ・ポイント所有者との参加交渉を行います。 10月第一例会 ・自転車でもマップを頼りに市内各地のチェックポイントを制限時間内で回るポイントラリー形式の競技の実施をします。 ・新たな客層を取り入れよりスケールアップを図ります。				
その他の説明					

2024年度 年間事業計画書

公益社団法人 川口青年会議所

事業番号	公3				
事業内容	教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業。 地域社会の健全な発展を目的とする事業				
事業対象者	川口市在住の市民	作成者	廣瀬 大志	役職	委員長
事業予算	¥250,000	確認者	中村 光彦	役職	専務理事
別表の号	7・青少年育成 ⑨ひとづくり 19・まちづくり				
事業分類	①講座、セミナー、育成 2・体験活動等 3・調査・資料収集 8・競技会				
事業の目的	国政の健全な運営の確保及び地域社会の健全な発展を目的とする事業				
事業の概要	2月第一例会 ・ビジネスの拡大や人脈を広げたい方を対象に属性の違う複数の講師を招いてパネルディスカッション形式の研修を行います。				
その他の説明					

2024年度 年間事業計画書

公益社団法人 川口青年会議所

事業番号	他1				
事業内容	会員の意識の啓発、知識の習得、能力の開発及び教養の向上を図る事業				
事業対象者	川口青年会議所メンバー	作成者	廣瀬 大志	役職	委員長
事業予算	¥120,000	確認者	中村 光彦	役職	専務理事
別表の号	7・青少年育成 9・ひとづくり 19・まちづくり				
事業分類	①講座、セミナー、育成 2・体験活動等 3・調査・資料収集 8・競技会				
事業の目的	公益目的事業を円滑に運営することを目的とし、また会員資質を向上させることを目的として、当法人が開催する研修事業。				
事業の概要	<p>5月第一例会 ・青年会議所運動を先導して行ってきた方をお呼びして、周年式典についての経験などを踏まえてご講演頂きます。</p> <p>8月第一例会 ・埼玉ブロックアカデミー委員会での学びを現役メンバーと共有することを目的とした研修を行います。</p> <p>11月第一例会 遺言例会 ・卒業生のこれまでのJC生活の思い出と、現役メンバーへの思い出を語っていただく。</p>				
その他の説明					

2024年度 年間事業計画書

公益社団法人 川口青年会議所

事業番号	他2				
事業内容	国際青年会議所、公益社団法人日本青年会議所、国内及び国外の青年会議所その他の諸団体と連携し、相互の連携と親善を増進する事業。				
事業対象者	川口青年会議所メンバー	作成者	廣瀬 大志	役職	委員長
事業予算	¥2,515,000	確認者	中村 光彦	役職	専務理事
別表の号	7・青少年育成 9・ひとづくり 19・まちづくり				
事業分類	①講座・セミナー、育成 ②体験活動等 3・調査・資料収集 8・競技会				
事業の目的	本年で60周年を迎える川口青年会議所の当会員や他の青年会議所会員等との相互の理解と親善を増進する事を目的として当法人が開催する交流事業。				
事業の概要	<p>60周年実行委員会</p> <p>1月第一例会 新春祝賀会</p> <ul style="list-style-type: none">・2024年度第60代理事長の、基本方針、事業内容の発信。・来賓、来訪JC、友好関係団体、先輩諸兄姉との交流を会食を含め実施。・2024年度役員紹介。・60周年記念式典をPRの実施。・新入会員の当事者意識の育成。・厳格な設営の定義は全ての列や向きが統一され、その集合体が厳格な設営に繋がり、来場者には誰一人不快な思いをさせない事とする。 <p>60周年記念式典参加員数計画</p> <ul style="list-style-type: none">・来賓、関係諸団体、各青年会議所、先輩諸兄姉に案内状を発送します。 <p>60周年記念誌の作成</p> <ul style="list-style-type: none">・これまでの歴史、50周年で策定した中期ビジョンの成果、5年先の運動方針をまとめ、記念誌を作成します。 <p>60周年記念式典</p> <ul style="list-style-type: none">・参加者の心に残る催しを実施します。・厳格な設営を行います。・新たに定めた川口青年会議所の運動方針を発表します。 <p>60周年記念懇親会</p> <ul style="list-style-type: none">・60周年記念式典後、先輩諸兄姉や関係諸団体を招き、感謝の気持ちをおもてなしで示します。・懇親会も厳格な設営を行います。 <p>60周年記念事業委員会</p> <p>12月第一例会 卒業式・忘年会</p> <p>【卒業式】</p> <ul style="list-style-type: none">・ご卒業生のこれまでの軌跡を紹介します。・ご卒業生に卒業証書と記念品を授与し、スピーチをしてもらいます。・川口青年会議所行動規範に則った厳粛な式典を設営します。 <p>【忘年会】</p> <ul style="list-style-type: none">・卒業生と交流を深める事を目的とした会食の実施します。・最優秀献血会賞、委員会賞、メンバー賞の授与式を行います。・2024年度を振り返り、メンバー同士労います。				
その他の説明					

審議一 5 公益社団法人川口青年会議所
2024年度 収支予算書（案）承認に関する件

修正収支予算書

2024年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
(1)経常収益											
受取入会金	0	0	0	192,000	192,000	0	0	288,000	288,000	0	480,000
受取入会金	0	0	0	192,000	192,000	0	0	288,000	288,000	0	480,000
受取会費	0	0	0	3,459,200	3,459,200	0	0	5,188,800	5,188,800	0	8,648,000
正会員受取会費	0	0	0	2,131,200	2,131,200	0	0	3,196,800	3,196,800	0	5,328,000
新入会員受取会費	0	0	0	480,000	480,000	0	0	720,000	720,000	0	1,200,000
特別会員受取会費	0	0	0	48,000	48,000	0	0	72,000	72,000	0	120,000
賛助会員受取会費	0	0	0	800,000	800,000	0	0	1,200,000	1,200,000	0	2,000,000
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
まちづくり事業収益	0	800,000	0	0	800,000	0	0	0	0	0	800,000
まちづくり事業収益	0	800,000	0	0	800,000	0	0	0	0	0	800,000
* 受取寄付金	0	2,200,000	0	0	2,200,000	0	0	0	0	0	2,200,000
* 寄付金収入	0	2,200,000	0	0	2,200,000	0	0	0	0	0	2,200,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,084	138,084
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14
その他雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,070	138,070
経常収益計	0	3,000,000	0	3,651,200	6,651,200	0	0	5,476,800	5,476,800	138,084	12,266,084
(2)経常費用											
事業費	0	3,707,384	2,034,768	0	5,742,152	120,000	2,515,000	0	2,635,000		8,377,152
賃借料	0	1,365,000	50,000	0	1,415,000	75,000	1,375,000	0	1,450,000		2,865,000
諸謝金	0	460,000	0	0	460,000	0	0	0	0		460,000
印刷製本費	0	700,000	145,000	0	845,000	25,000	160,000	0	185,000		1,030,000

修正収支予算書

2024年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
事務委託費										146,600	146,600
諸会費										204,200	204,200
印刷製本費										274,500	274,500
JCI負担金										83,369	83,369
日本JC負担金										280,000	280,000
関東地区負担金										57,000	57,000
埼玉ブロック負担金										302,000	302,000
国際協力基金										96,725	96,725
日本JC出向者負担金										100,000	100,000
雑誌購読料										136,000	136,000
減価償却費										0	
経常費用計	0	3,707,384	2,034,768	0	5,742,152	120,000	2,515,000	0	2,635,000	2,746,133	11,123,285
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 707,384	△ 2,034,768	3,651,200	909,048	△ 120,000	△ 2,515,000	5,476,800	2,841,800	△ 2,608,049	1,142,799
当期経常増減額	0	△ 707,384	△ 2,034,768	3,651,200	909,048	△ 120,000	△ 2,515,000	5,476,800	2,841,800	△ 2,608,049	1,142,799
経常外増減の部											0
(1)経常外収益											0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用											0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
* 他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 707,384	△ 2,034,768	3,651,200	909,048	△ 120,000	△ 2,515,000	5,476,800	2,841,800	△ 2,608,049	1,142,799
一般正味財産期首残高											2,969,260
一般正味財産期末残高											4,112,059
正味財産期末残高											4,112,059

公益社団法人 川口青年会議所 2024年度 収支予算書(案)

I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	30,000	×	16 名(正会員承認見込数)	480,000	480,000
				480,000	
受取会費	144,000	×	37 名	5,328,000	
正会員会費	144,000	×	0 名(休会者、育児休暇)	0	
	72,000	×	0 名(前期退会者)	0	5,328,000
	144,000	×	0 名(後期退会者)	0	
新入会員会費 12000/月	144,000	×	1 名(1月入会)	144,000	
	120,000	×	1 名(2月入会)	120,000	
	108,000	×	1 名(3月入会)	108,000	
	96,000	×	2 名(4月入会)	192,000	
	84,000	×	3 名(5月入会)	252,000	
	72,000	×	2 名(6月入会)	144,000	1,200,000
	60,000	×	2 名(7月入会)	120,000	
	48,000	×	1 名(8月入会)	48,000	
	36,000	×	1 名(9月入会)	36,000	
	24,000	×	1 名(10月入会)	24,000	
	12,000	×	1 名(11月入会)	12,000	
特別会員会費収入	30,000	×	4 名(本年度ご卒業生)	120,000	120,000
賛助会員会費収入				0	0
シニアクラブ				2,000,000	2,000,000
賛助会員				0	0
その他				0	0
				8,648,000	
事業収入					
登録料収入					
総務広報 第3回かわロゲ	3,000	×	200 人(大人)	600,000	800,000
総務広報 第3回かわロゲ	2,000	×	100 人(子供)	200,000	
				800,000	
受取寄付金					
寄付金収入				0	0
協賛金収入					
川口市	200,000	×	1	200,000	
総務広報事業	50,000	×	6 社	300,000	900,000
総務広報事業	20,000	×	20 社	400,000	
HP/パンフレット	20,000	×	15 社	300,000	300,000
60周年記念事業	100,000	×	2 社	200,000	
60周年記念事業	50,000	×	4 社	200,000	1,000,000
60周年記念事業	20,000	×	30 社	600,000	
				2,200,000	
雑収入					
受取利息収入	14	×	1	14	14
その他雑収入	10,800	×	12 ヶ月	129,600	129,600
自動販売機設置料	8,470	×	1	8,470	8,470
				138,084	
経常収益計					12,286,084
② 経常費用					
事業費					
1. 60周年実行委員会				2,215,000	
2. 60周年記念事業委員会				1,365,000	
3. 総務広報委員会				1,770,000	5,700,000
4. 特別理事(拡大)				250,000	
5. 副理事長(ブロック)				50,000	
6. 専務室(遺言例会)				50,000	
				5,700,000	
管理費					
通信・発送費				80,000	80,000
例会及び理事会通知等				170,000	170,000
什器備品費				350,000	350,000
コピー機リース料				1,562,376	1,562,376
JCI手帳700円×(出向者数+αを含む)				24,243	24,243
事務局内消耗品、印刷費				5,000	5,000
貸借料	130,198	×	12	20,000	130,000
事務局内資料支出				0	0
ホームページ管理・制作				100,000	200,000
1. 60周年実行委員会				5,000	
2. 60周年記念事業委員会				20,000	
3. 総務広報委員会				5,000	
理事会費支出				0	
総会費支出				100,000	
水道光熱費					
1月～12月 888192円					
給与手当				918,192	918,192
①(基本計算1028円×4.5h×16日×12ヶ月)					
②残業代30,000					
雑費				200,000	200,000
渉外費	8,000	×	1	8,000	108,000
京都会議				100,000	
他団体渉外費	100,000	×	1	120,000	
税理士10,000×12月分	10,000	×	12 カ月	6,800	146,600
社労士8,600	8,600	×	1	20,000	
司法書士20,000	20,000	×	1	59,200	204,200
川口青年経済人連絡協議会	1,600	×	37 名	145,000	
諸会費	145,000	×	1	274,500	274,500
諸団体事業協賛金	610	×	450 冊	58,201	83,369
手帳作成費	1,573	×	37 名	25,168	
JCI負担金	1,573	×	16 名(年間新入会員)	30,000	
①基本額	30,000	×	1	185,000	280,000
日本JC負担金	5,000	×	37 名(継続会員)	50,000	
②付加金	5,000	×	10 名(前期新入会員)	15,000	
①基本額	10,000	×	1	10,000	
関東地区負担金	1,000	×	37 名(継続会員)	37,000	57,000
②付加金	1,900	×	10 名(前期新入会員)	20,000	
①基本額	20,000	×	1	222,000	302,000
埼玉ブロック負担金	6,000	×	37 名(継続会員)	60,000	
②付加金	6,000	×	10 名(前期新入会員)	67,525	96,725
国際協力基金	1,825	×	37 名(継続会員)	29,200	
日本JC出向者負担金	1,825	×	16 名(前後期新入会員)	29,200	100,000
雑誌購読料 月/250	20,000	×	5 名	3,000	
①基本額	3,000	×	37 名(継続会員)	3,000	
②付加金	2,500	×	1 名(1月入会)	2,250	
	2,500	×	1 名(2月入会)	2,250	
	2,250	×	1 名(3月入会)	4,000	
	2,000	×	2 名(4月入会)	5,250	
	1,750	×	3 名(5月入会)	3,000	136,000
	1,500	×	2 名(6月入会)	2,500	
	1,250	×	2 名(7月入会)	1,000	
	1,000	×	1 名(8月入会)	750	
	750	×	1 名(9月入会)	500	
	500	×	1 名(10月入会)	250	
	250	×	1 名(11月入会)	250	
				5,423,285	
経常費用計					11,123,285
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
中科目別記載				0	0
(2) 経常外費用					
減価償却費				0	0
他会計振替額				0	0
当期一般正味財産増減額					1,142,799
一般正味財産増減額				2,969,260	
一般正味財産期末残高					4,112,059
II 指定正味財産増減の部					
受取補助金等				0	0
一般正味財産への振替額				0	0
当期指定正味財産増減額				0	0
指定正味財産期首残高				0	0
指定正味財産期末残高				0	0
III 正味財産期末残高					
	0	×	1 2025年分	0	
65周年積立金	0	×	1 2026年分	0	
(特定費用準備金制度利用)	0	×	1 2027年分	0	0
	0	×	1 2028年分	0	
65周年2029年度				0	
周年費用差引 本会計				4,112,059	

科目	2024年予算	2023年9月補正予算	比較増減	%
(1)経常収益				
受取入金	480,000	600,000	△ 120,000	3.91%
受取入金	480,000	600,000		
受取会費	8,648,000	6,480,000	2,168,000	70.50%
正会員受取会費	5,328,000	4,464,000	864,000	
新入会員受取会費	1,200,000	456,000	744,000	
特別会員受取会費	120,000	60,000	60,000	
賛助会員受取会費	2,000,000	1,500,000	500,000	
その他				
事業収入	800,000	886,500	△ 86,500	6.52%
登録料収入	800,000	886,500	△ 86,500	
受取寄付金	2,200,000	1,360,000	840,000	17.94%
寄付金収入			0	
協賛金収入	2,200,000	1,360,000	840,000	
雑収益	138,084	138,084	0	1.13%
受取利息	14	14	0	
その他雑収益	138,070	138,070	0	
経常収益計	12,266,084	9,464,584	2,801,500	100.00%
(2)経常費用				
事業費	5,700,000	3,936,598	1,763,402	51.24%
管理費	5,423,285	5,332,514	90,771	48.76%
通信・発送費	80,000	120,000	△ 40,000	
什器備品費	170,000	170,000	0	
消耗品費	350,000	350,000	0	
事務局賃借料	1,562,376	1,562,376	0	
ホームページ管理費	24,323	24,323	0	
会議費	130,000	157,500	△ 27,500	
水道光熱費	200,000	200,000	0	
給与手当	918,192	957,319	△ 39,127	
雑費	200,000	200,000	0	
渉外費	108,000	108,000	0	
事務委託費	146,600	146,600	0	
諸会費	204,200	196,200	8,000	
印刷製本費	274,500	274,500	0	
J C I 負担金	83,369	81,796	1,573	
日本 J C 負担金	280,000	242,500	37,500	
関東地区負担金	57,000	43,000	14,000	
埼玉ブロック負担金	302,000	218,000	84,000	
国際協力基金	96,725	94,900	1,825	
日本 J C 出向者負担金	100,000	80,000	20,000	
雑誌購読料	136,000	105,500	30,500	
減価償却費	0	0	0	
経常費用計	11,123,285	9,269,112	1,854,173	100.00%
評価損益等調整前当期経常増減額	1,142,799	195,472	947,327	
当期経常増減額	1,142,799	195,472	947,327	
経常外増減の部				
(1)経常外収益計				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,142,799	195,472	947,327	
一般正味財産期首残高	2,969,260	2,773,788	195,472	
一般正味財産期末残高	4,112,059	2,969,260	1,142,799	
特定費用準備資金制度運用 60周年積立金 2020年、21、22、23年分	0	600,000		

出向者報告会 報告書

『一年間の御礼』

公益社団法人日本青年会議所 国家グループ
国の安全確立委員会

名前 副委員長 平野 大太

2023年度、日本青年会議所の副委員長として一年間出向をさせていただきました。細かく色々記載をしようと思うとキリが無いのですが、端的にどうだったかと言われると、非常に辛い、しんどい一年でした。月に4つの会議があり、ほぼ毎月上程だったので、毎週上程書を提出するような一年で、常に上程書の作成に追われていたような気がします。私と与えられた職務というのが教育系統の職務であり、最終的には文部科学省へ提言書のようなものを提出するところまで辿り着いたのですが、それによって社会をより良くすることに1ミリでもつながったかという、確信が正直持てません。運動を作ると言うのは簡単ですが、規模の大小ではないとは言え、国が進めている制度、仕組みに対して、一年間という限られた期間で、何か改善につながる具体的な成果を出すということの難しさを痛感した一年でした。

しかしながら、辛い、しんどいから、出向したことを後悔しているかという全くそんなことはありません。むしろこれがJCだなど、JCやったなと思わせてもらった一年でした。昨年は委員メンバーとして出向しましたが、LOMでの理事長職を終えたあと、はじめて出向先で役を持つことがなく少し休憩のような一年を過ごさせていただきました。しかし、やはりそれはもったいなく、物足りなく感じて今年副委員長として出向をさせていただき、ストレスで胃が溶けそうな感覚を味わいながら、自分に負荷をかけて必死に一年間やり切ったことで、一年前の自分と比べて、新しく見えた景色、初めての体験から得た知見、何よりも苦楽を共にした全国各地の新たな仲間を得ることができ、本当に充実した一年でした。

JCのやり方、過ごし方に正解は無いと思えますし、人それぞれが自身にとっての最適なJCライフを送っていただければとは思いますが、やはりせつかく時間とお金をかけてJCをやるのであれば、できるJCをやってもあまり意味がないと

『出向者報告』

公益社団法人日本青年会議所
2023年度全国大会運営会議
第5小会議
小島 哲生

私は4月に川口の営業拠点から東京の本社に転勤になり、4月以降、LOMの活動すらまともにできていない中、今年度全国大会運営会議に出向させていただきました。

出向者報告にあたり、まずは皆様にお詫び申し上げます。

全国大会運営会議は、その名の通り、一年を通じて全国大会の運営全般、広報、交通、次回以降の検討などを、5つの小会議に区分して組み立てていく組織です。

2023年度は開催地が東京都だったため、仮に4月以降東京に転勤になったとしても、これなら・・・と思い手を上げさせていただきました。

私が所属した第5小会議は、その中でも少し特殊な職務分掌で、“次回以降開催地”の現地調査や、立候補地との連絡・調整、開催に向けた対話集会の開催を主に担っています。

来年度開催地の福岡、そして佐賀、神戸と、小会議を構成するメンバーも次回以降開催地のメンバーが中心となっており、VCの所属する新潟を含めた、全国各地のメンバーの中に、川口から単独出向、という形で私が参加していたイメージです。

正直、4月以降平日に行われる福岡、佐賀、神戸での現地調査や、開催に向けた対話集会といった、現地開催の例会に、自由と時間を奪われたサラリーマンの私では、参加することは全くできませんでした。

私が経験したのは東京で開催される会議と、全国大会当日で担当したオープニング、クロージングセレモニーといったところで、第5小会議で言えば半分程度の担いだったと思います。

そんな自分でも、この全国大会運営会議に参加したことで皆さまにお伝えしたいのは、全国大会の圧倒的な規模と、全国規模の繋がり、交流が持てたということです。

私は思います。自分に負荷をかけることで、一年が終わった時に、やり切ったよかった、一年前と比べて成長できたと感じられてこそそのJCだと思えます。出向はそうした機会を自分に与えられる手段ですので、まだ出向をしたことが無い方、役をもって出向したことが無い方は、せっかくJCやるのであればと思って、ぜひ前向きに検討していただければと思います。

結びとなりますが、本年も出向を優先的に考えて動かさせていただいた結果、例会や事業に参加がかなわないことが少なからずありました。そうした中でも、快く出向に送り出していただき、最後まで全うさせていただいたことに、心より感謝申し上げます。京都会議やサマコン、全国大会のLOMナイトまわりで委員長が各LOMをまわるなかで、毎回「川口さんが一番しっかりしていて、まとまりがあって、しかも楽しそうな雰囲気を感じる。良いLOMですね。」と語っていただけていました。誇らしくもあり、本当に川口JCは最高だなと思います。

皆様一年間本当にありがとうございました。

東京ビッグサイトで行われた全国大会、私は前日から設営で現地入りしていましたが、その圧倒的な設営の規模を経験できたのは、かけがえのない経験になりました。また、規模こそ違いますが、ひとつひとつの設営は、常に川口で行なっている減額な設営、運営の積み重ねであり、常日頃から行なっている我々の活動が、十分に活かせる、ということが感じられました。

全国大会運営会議は、第1～5小会議が一同に集まることが多く、小会議毎に出身LOMの特徴も違い、大規模での懇親会や、全国規模の交流は他で味わえないものだと思います。

そして、次回以降開催の福岡、佐賀、神戸メンバーの、全国大会誘致、開催に向けた熱量を間近で見ることができたのも良い経験になったと感じています。

単独で出向することに、初めは不安もありましたが、同じ志を持った仲間が向かう方向は同じであり、他LOMの仲間も温かく迎え入れてくれ、幽霊メンバーながらも非常に充実した一年を過ごさせていただくことができました。

こうした経験を今後の活動にも活かしていきたいと思えますし、誰にでもこうした経験ができるチャンスがあることを皆さんにもご理解いただき、是非積極的な出向にチャレンジしてみてください。

『初めての出向』

日本青年会議所
国の安全確立委員会 小幹事
埼玉ブロック協議会 事務局員
岩本 智春

これまで LOM 内出向しか経験がなく、本年初めての日本とブロックへの出向となりました。昨年末に JC の退会を本気で考えていたとき、たくさんの方に助けをいただきいろいろなお話をさせていただきました。その中で、平野さんの優しさに救われて卒業まで続けようと思っていた時期でした。そんな平野さんのお願ひならば聞かないわけにはいかないと思い一緒に出向させていただきました。国の安全確立委員会という私の人生には程遠い委員会、林委員長に「北方領土返還—！」と叫びに行くんだよ、と言われたとき少し引いてしまったのを覚えています。ですが、各地から集まる委員会メンバーの皆さまと出会い、月に一度日本のどこかに集まり一緒に事業を行える楽しい機会となりました。VC として出向された平野さん、スタッフの皆さまの委員会への注力はとても学びになりました。石垣島に行って一度も海を見ずに帰宅したのは初めての貴重な経験でした。声をかけていただき、一緒に出向していただいた皆さま、誠にありがとうございました。

埼玉ブロックでは、事務局員として主に設営協力や受付をいたしました。埼中の方々と互いの LOM のお話をたくさんさせていただき、BIGLOM ならではの問題などを伺いました。県じゃがの設営では、ゴルフをせずに一日ゴルフ場にいるという貴重な経験をさせていただきました。

そして、ブロック出向へ声をかけてくださいました運営専務であります木村さんのセクレタリーも何度かさせていただきました。いろいろなお話をさせていただきましたが、ほとんど車内では音楽に身をゆだねて歌っているお姿を拝見しておりました。運転中に YouTube の動画を見てほしいと言われたのは人生で初めての体験でした。

どちらの出向も、たくさんの出会いがあり思い出ができ、本当に感謝しております。機会の提供をくださりありがとうございました。

『日本出向について』

日本青年会議所
国の安全確立委員会 委員
高橋 智也

はじめに、日本出向に対して快く送り出していただいた永井理事長、木村直前理事長に感謝申し上げると共に、日本出向における活動に対してご理解を頂いた川口メンバーの皆様にも同様に感謝申し上げます。今回の出向は、平野大太特別理事、岩本智春中期ビジョン推進特別委員会副委員長と共に「国の安全確立委員会」へ出向させて頂きました。

1年を通して、国の安全確立委員会全体としては「国防」、平野特別理事が副委員長として尽力された「社会教育士」への認知向上への取り組みを行って参りました。

日本出向を終えて思うことは、事業(事業の細かな内容は割愛いたします)に携わることで知識を得る事、多くの学びがあり自分自身が成長できることはもちろんですが、活動を通して日本全国のJCマンと出会い、各ROMがどのような色を持ち、どのように事業を進めているのか、その姿勢はどのようなものなのかを知ることができ、人脈や世界観が広がったことが何よりも良かったと感じています。

個人的な感想にはなりますが、全世界で沢山のメンバーが活躍するJCですが、

「世界」という大きすぎる枠ではなく、手の届く「日本」という枠でJCのスケールメリットを大いに体感できる場、自分が大いに成長できる場であると感じました。それに伴い、川口のメンバーの皆様も出向に対して前向きに検討して頂きたいと思いました。

そこで得た知識や経験こそがJC川口をより良くしていく一助になると思います。私自身、この1年で得た知識や経験、人脈を還元できるよう努めて参ります。

最後になりますが、地方や海外へ出向くことの多い私の仕事柄をご理解いただき、仕事もJC活動もより良い形になっていく場として日本出向を示唆いただきました平野特別理事に深く感謝申し上げます。報告とさせていただきます。

『出向者報告』

埼玉ブロック協議会
運営専務 木村紳吾

本年度は埼玉ブロック協議会の運営専務として出向させていただきました。運営専務の仕事は、LOMの専務のブロック版という感じです。大きく違うのは、川口青年会議所は独立した公益団体であるのに対して、埼玉ブロック協議会は日本青年会議所の下部組織である、という点が大きく違ってきます。埼玉ブロックとして運動をするときは、LOMの専務と同じで、埼玉ブロック協議会が最大限運動できるように動いていくのが主な仕事です。一方で、本会の下部組織として埼玉県内のLOMを取りまとめるという仕事もあります。本会で決まった事業の案内やアンケートの実施など、30LOMの理事長・専務にお願いをしていく立場になります。ブロックはもちろんのこと、関東地区・本会からの情報を持つため、私が情報を遮断してしまうと各LOMに伝わらないため、とても責任のある役職だったと思います。

私の目標は、会長が運営にまで気をまわさなくてもいいように、裏でサポートしきることでした。すべてを完全にやり切ったかといえば疑問が残るところもありますが、ブロックの事業も本会からの要請も滞りなく完了できたという点では、個人としては達成感を持っています。専務の仕事は、委員長と違って常に上程があるわけではなく、これをしないと運動がストップしてしまうわけではありません。ですので、常に今のままでいいのかという自問自答を繰り返していく難しい役職であるがゆえに、やりがいを感じることができました。最後の挑戦として、さよならブロックで卒業生代表スピーチの大役をいただき、思いをすべてお伝えできたのもいい思い出です。

最後に、2回目の事務局次長としてサポートしてくれた赤羽さん、事務局委員として出向してくれた岩本さん、何より出向をさせていただいた永井理事長に心から感謝申し上げます。ラストイヤーも逃げることなく、JCをやり切ることができて、とても充実感のある一年間でした。

ありがとうございました。

『事務局次長として輪廻転生』

埼玉ブロック協議会
事務局次長 赤羽 孝太

思い返せば昔からそうだった。まわりがコロコロコミックを読んでいる時期はコミックボンボンを読み。友人の間でミニ四駆が流行ったときは一人チョロQで遊んでいた。中学生になり「笑う犬」が流行ったときはひたすらBSで再放送しているアルフにハマっていた。当然ながら同級生と話しは合わない。どうも主流からは一歩外れた生き方をしているらしい。そういえばポケモンが流行ったときはメダロットだった。そんなわけで事務局次長をおかわりした。面白い選択をしたと今でも思っている。

木村運営専務とは2021年以来2回目の組み合わせで毎回面白く参加させていただき感謝しています。木村運営専務の最後の一年を一緒に過ごせてよかったです。

ブロックの何が面白いのか。それは「亜種」に会える確率が非常に高いことである。ここで大事なことなので補足しておく。現在の人類はホモ・サピエンスの単一種である。単一種であるが当然変異体が生まれる。つまりブロック協議会に行くLOMで居場所のない方やLOMの方針から外れた方。さらに内に秘めた欲求をブロックで発散している方など様々なメンバーがいて非常に面白い。これを「JC亜種」とする。この「JC亜種」は欠陥があるのか、はたまた進化の最前線なのか判断はつかないがかわることで知見が広がる。

ブロック会長が言っていた言葉でよく覚えていて皆さんに伝えたいのが「迷ったときは面白いほうに舵を切れ」である。そのままの意味なので解説はしない。

まだ出向したことない皆さんに言いたい。時間が余って家でスマホをいじっているくらいならブロックに行き、ブロックの懇親会でスマホいじっていたほうがいい。面白い話があったときだけスマホから目を離せばいいじゃないか。簡単なことです。最後に皆さんに言葉を送ります。

「タッカラプト ポップルンガ プピリット パロー——！！！」